

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第3回 大木中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年 9月 20日(金) 18:00 ～ 19:00

2 場 所 大木中学校 会議室1

3 あいさつ

(1)委員長より

・先日、学校で授業の様子を視察した。あるクラスでは、欠席・出停生徒が10名を超える人数がいて驚いた。学級閉鎖等に至らなくてよかった。自己学習等に取り組んでいた。

(2)学校長より(兼 近況報告)

・鈴鹿市が進める教職員の働き方改革について、市の方針に準じて取り組んでいる。大木中としては2学期より、朝練の部活動がない場合は、生徒登校を8時以降とした。

(これでも、教職員の勤務時間開始より20分早い状態だが・・・)

・学校の様子については、最近病気のため欠席生徒が多い状態である。校長が学校医と教育委員会と連携しながら検討し、学級閉鎖等の処置を下している。コロナ感染者等の数が少なかったため学級閉鎖とはならなかった。テストが受験できない生徒等についての対応はしっかりと行っていく予定。

・部活動について：中体連地区大会では生徒数の減少により運動部の団体競技において結果は厳しいものであった。生徒たちは、自分たちのために各競技でがんばっていた。

・学校の工事について：運動場、クラブハウスの整備工事、体育館の床、並びに照明のLED化工事が進んでいる。年内に完成し新しい環境の中での再スタートとなる。

・避難訓練：9月末に避難訓練で箕田小学校へ歩いて避難。垂直避難を小学生と合同で行う。

・文化祭：文化祭について、テスト後より始まる合唱練習の様子や文化祭当日には、委員の皆様には、ぜひ学校の様子を見ていただきたい。

4 学校からの報告

(1)教務より

・3年生進路希望について、多様な進学先がある。すでに、入学試験が終了し、早くも合格をもらっている生徒がいる。申し込み等も学校を経由せず直接申し込み等がある。合格発表もLineで発表。新しい入試がもうすでに始まっている。

・2年職場体験学習について、11月に実施予定。受け入れ事業所多数協力。生徒の選択肢が多くて助かっている。

(2)研修より

・全国学力学習状況調査と今後の取組について、成果は国語・数学ともに無回答率が低かった。課題については、C層D層生徒の割合が全国平均より多く、確実な基礎基本力をつけていかなければならない。生徒質問紙から学びに向かう力は全国平均より高い状態である。家庭学習について平日・土日とも全国平均よりも学習時間が少なかった。家庭学習を延ばすのが課題である。

(3)生徒指導より

- ・夏休みに命にかかわる事故はなかった。SNSに関わる事案やトラブル等はあった。

新校舎になり、2学期より校舎の使い方や過ごし方について指導をしている。(例：ベランダや廊下での過ごし方、教室等の施錠について)

- ・現在、暑さ対策から、生徒は半そで・タンパン姿でも授業を可としている。今年度の暑さ等から鑑みて、夏服や制服への移行を検討中である。

5 熟議事項

熟議内容「大木中学校生徒について」

(委員 A) 授業見学の際、**chromebook** を使用した授業で関係のない画面を見ていた生徒がいた。対策が必要なのではないか。授業者は把握できないのか？

また、机に伏せて寝ていた生徒もいた。授業理解ができていないのではないかと心配である。

(委員 B) 自分が、**chromebook** を使用する機会がないのでよくわかっていない。授業者の指示と違う内容の事ができるのか？

(委員 A) できる。それが問題だと感じる。

(委員 C) 自分が中学生の時には、**chromebook** はなかったが、教科書の違う所を見ていたり、聞いてなかったりしていた生徒はいた。自己責任ではないか。

(委員 D) **chromebook** を使用したことがないので、この議題のイメージがしにくい。

(学 校) **chromebook** を使用することにより、授業の効率化が図れる。例えば、一つの画面にて生徒の一人ひとりの意見を集約でき、一度に各生徒へ表示できる。生徒は大人より、**chromebook** を使用に慣れている。大半の生徒は、**chromebook** を使用することにより授業への取組が増えたと感じる。フィルタリングもかけられている。過去にはそれをはずして使用していた生徒もいた。使い方については日頃から指導をしている。

(委員 E) チャット機能もあるのか？

(学 校) 授業でも使用している。授業者が入力スペースを確保してそこへ生徒が書き込むことができる。また、それを全員が閲覧できる。

いわゆる双方向使用が可能になる。誰の意見かもわかるので、活動に参加していない生徒等はすぐにわかる。その時その時で必要なことを学ばせている。

(委員 F) 職員会議などで教員は使っていないのか？

(学 校) 積極的に使っている。また、校内研修等の会議にも使っている。取組の共有など活用している。

(委員 G) 祭り等、地域行事で参加している中学生の態度が良い。地域の一員とじてもらえるとありがたい。あいさつが気持ちよくできる生徒もいるが、中には朝登校時に元気がない生徒もいる。こちらから、あいさつをすると返答してくれる。

(委員 H) デジタル化を推進することで、アナログ的な学習（例えば漢字学習等）は大丈夫なのか？国語力が低下すると他教科の応用力に影響するのではないか。

(学 校) 例をあげると、ある校区内小学校では「綴り方学習」に力を入れ学習をしている。読む・書くについても基礎基本を中心に学習を行っている。校区内の小中学校で共通理解をしている。

(委員 I) chromebook を使用することで何度もやり直しができるのを知った。また、思いや考え方を打ち込めるので、授業中に発言しにくい生徒も表現できるのが良い。

(委員 F) 10 年・20 年前に比べると家の前を塾帰りの子どもが通るのが少なくなったような気がする。今の子どもたちは塾に行っているのか？

(学 校) 完全に把握はしていないが、今でも多くの子どもが塾に通っていると聞いている。地元の塾に通っている子どもや他地域へ保護者等の送迎で行っている子ども等まちまちである。

学校では、3 年生に 2 学期に「放課後補充学習」を期間限定であるが行っている。塾へ行っていない生徒の学習機会になっていると思う。

夏休みには、地域の大学生に協力してもらって、3 年生に補充学習を行った。非常に助かった。

6 CS コーディネーターより

- ・熟議では chromebook の使用についてのご意見が多かったと感じる。今後実際にその使い方等運営協議会で見てもらってはどうか。それにより、生徒がどのように学んでいるかが理解してもらえと思う。

- ・中学校では今年度より「電子書籍」も導入された。様々なものがアップデートされている。

- ・chromebook はあくまでも学習の道具である。それを使用して力をつけるかは学校の課題。学校は子どもたちが使用ルール守り、よりよい学習ができるように教育委員会と連携して行っている。

- ・あいさつについては、この校区では小学校の間はよく挨拶をしていると聞いている。中学生になると思春期に入り、自分から率先してあいさつができる生徒が減ってくると聞く。地域の方々も中学生にも変わらず声掛けをしていただきとありがたい。

7 その他

次回 第 4 回学校運営協議会は、大木中校区合同学校運営協議会として

11 月 21 日（木）に大木中学校にて「小中学生のメンタルヘルスケアとそのかわり方」についての研修会を開催。

講師は、こころの医療センター・精神保健福祉士。

以上